

< 資料編 >

2 指導計画と評価計画（5時間） 支援を要する児童への留意点

過程	時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	評価項目（方法）
つかむ	1	オリエンテーション 学習の進め方を知る。 動きから連想するイメージをとらえて次々と動く。課題から思いつく動きを次々と表現する。音楽に合わせて楽しく動く。 【見通し1】	・学習の流れを説明する。 ・思いついたことを次々と動くように助言し、どんな表現でも誉め、認め合うことができるようにする。 ・心身を解放して楽しく表現したり、リズムにのって動いたりすることができるように教師もともに動くようにする。 心身の解放ができない児童には教師と一緒にいき、できた部分については常に誉め、認めるように支援する。	【関心・意欲・態度】（観察） ・仲間と協力して活動している。 【関心・意欲・態度】（観察） ・心身を解放して表現運動の楽しさや喜びを味わおうとしている。
	2		・自己の活動が振り返ることができるよう学習カードを準備する。	【技能】（活動の観察） （学習カードの記述） ・動きから連想するイメージを特徴や感じをとらえて表現している。
追求める	3	課題から言葉やイメージをたくさん出して、特徴をとらえた表現をしていく。友達の表現をまねしたり、お互いの表現を認め合ったりしながら工夫して即興的な表現である「動きのデッサン」を行う。 【見通し2】	・誰とでも仲良く協力して活動ができるようにする。 ・グループで課題に取り組む時は友達のどんな表現でも認め、賞賛の言葉をかけるよう助言する。 ・お互いに協力し合って、短時間にたくさんの言葉やイメージを出せるように助言する。 ・出てきた言葉やイメージを次々と表現できるよう2～3秒以内にポーズをとるなどの約束を示し、動きが止まらないように支援する。 ・出てきた表現をまねし合いお互いに共有させ、自己の表現をさらに広げられるようにする。 ・身体全体を使い大きく動いてみるよう助言する。 言葉やイメージがなかなか見つけられないグループへは積極的にかわり、教師が例を示すなどの支援をしていく。	【関心・意欲・態度】（観察） （学習カードの記述） ・仲間とお互いの表現のよいところを認め合い、協力して練習や発表をしている。 【思考・判断】（活動の観察） ・課題にあったイメージをもち動きを工夫している。
	4			【技能】（活動の観察） （学習カードの記述） ・題材の主な特徴や感じをとらえて多様な表現ができる。
まとめる	5	仲間とお互いの表現を認め合い、ひとまとまりの流れを工夫して即興的な表現活動を行う。 【見通し3】	・始めと終わりを意識して次々に動き、表したい内容をひと流れにまとめグループで協力して発表できるよう助言する。 ・気に入った動きや特徴が分かる動きを繰り返したり、リズムや速さを変えて動いてみることも助言していく。	【思考・判断】（活動の観察） （学習カードの記述） ・課題解決のための練習や発表の仕方を工夫している。
		グループで発表する。発表を行った感想をまとめる。	・友達の良かったところをや他のグループの良かった表現を発表し、お互いに認め合い、賞賛の言葉がかけられるように助言する。 ・協力して工夫し、発表に向けてまとめられるように助言する。	【技能】（活動の観察） （学習カードの記述） ・題材の主な特徴や感じをとらえて表現したり、ひと流れにして表現したりすることができる。

本時の学習（1 / 5 時間目）見通し 1

1 . 本時のねらい

動きからイメージを連想しやすい題材で「動きのデッサン」を行い、心身を解放して 体全体を使って楽しく表現することができる。

2 . 準備 CDプレーヤー、イメージカード、黒板、マジック

1 . 本時の展開 「走る - 止まる」

学 習 活 動	支援及び指導上の留意点	時間	評 価 の 観 点
<p>本時の学習の進め方を知る。 ウォーミングアップをする。 ・「だるまさんがころんだ」を行う。</p>	<p>・音楽によって、どんな動きでも教師と同じように動くように指示し、賞賛をしながら体全体を使って楽しんで取り組むことができるようにする。 ・教師とともに「だるまさんがころんだ」を行い、工夫して独自のポーズで止まれた児童は賞賛し、ポーズを紹介する。</p>	10分	<p>・心身を解放して楽しく取り組んでいる。 【関・意・態】(観察)</p>
<p>「走る - 止まる」の課題を行う。 ・全員で拍手をし、教師の合図でピタッと拍手をやめ、止まる。 ・「走る - 止まる」を教師の示したイメージや自分たちで考えたり、思いついたりしたイメージで行う。 ・思いつくものをあげ、でてきたものをカードに書く。 ・グループになりリーダーを交代しながら順番に出し合ったイメージをリーダーのまねをしながら表現する。 ・グループで上手にできたもの、気に入ったものに題名をつけ、表現する。</p>	<p>・全力で走り、緊張感をもってピタッと止まることを意識して動くように助言する。 ・4人～5人のグループになり、「走る - 止まる」から、たくさんのイメージを出させ、その中から表現してみたいものを選ぶことができるようにし、特徴を的確にとらえられるように助言する。 ・仲間のイメージをまねし合うことで発想を広げ、多様な表現ができることに気付けるように助言する。 ・気に入ったもの、他のグループが考えられないようなイメージを選び題名をつけ、グループで考えた独自の表現で自信をもって動けるように助言する。</p>	25分	<p>・身近なものの様子をとらえて即興的な表現ができる。 【技】(観察) (学習カードの記述)</p>
<p>お互いに発表し合う。他のグループの発表をみる。 ・本時の活動のまとめをする。</p>	<p>・どんなものが表したいのか見ている人に伝えられるように発表することを助言する。 ・他のグループの発表を見て、自信をもつことができるよう、お互いのグループの良かったところを発表し合うように指示する。 ・学習カードに記入し、本時の活動をふりかえるとともに、次時の活動への意欲がもてるようにする。</p>	10分	<p>・はずかしがらずに楽しく発表している。 【関・意・態】(観察) (学習カードの記述)</p>

本時の学習（3 / 5 時間目）見通し 2

1. 本時のねらい

仲間とかかわり合いながら「動きのデッサン」を行い、仲間の表現の良いところに気付き、自分の表現を広げることで多様な表現ができるようにする。

動きを繰り返し、精一杯の動きやメリハリのある動きで表現できる。

2. 準備 CDプレーヤー、イメージカード、黒板、マジック

3. 本時の展開 「自動車と水たまり」

学 習 活 動	支 援 及 び 指 導 上 の 留 意 点	時 間	評 価 の 観 点
<p>本時の学習の進め方を知る。 ウォーミングアップをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3人グループになり、カードをめくってすぐに書いてあるものになる。 （「飛び散る - 飛び散る」で出たイメージ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や仲間の動きの真似をし、音楽にのり体全体を使って動くように指示する。 ・ 3人組でリーダーを交代しながらすめ、すぐにカードに書いてあるものを表現するように指示し、思いつかない児童は駆け足やスキップで動くように助言する。 	10分	
<p>「自動車と水たまり」の課題を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨が降ってくる様子を教師の言葉かけで動く。（雨ふり） ・ いろいろな水たまりができる様子を動く。（水たまり） ・ 自動車と水たまりの二つの役にわかれて表現する。 ・ 水たまりの中で見つけたものを入れて、自分でイメージをもってやってみる。 ・ グループで上手にできたもの、気に入ったものに題名をつけ、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体のいろいろな部分で雨を受け止め、体全体を使って動くように助言する。 ・ 水たまりができる様子は雨ふりから続けて行い、いろいろな水たまりをがあることに気づかせるように言葉かけをする。 ・ グループになり、二つの役を決めてお互いの動きを意識して動くよう助言する。 ・ どんな車がどんな水たまりにはいるのか、水たまりの中に何がいるのかなど、多様な表現ができるよう、仲間の言ったイメージも取り入れるように助言する。 ・ 思いついたものの特徴ははっきりとわかる部分を強調して動くように助言する。 ・ 気に入ったもの、他のグループが考えられないようなイメージを選び題名をつけ、自動車と水たまりのどんな様子か、グループで考えた独自の表現で自信をもって動けるように助言する。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題にあったイメージをもち動きを工夫している。 【思・判】(観察) ・ 身近なものの様子をとらえて即興的な表現ができる。 【技】(観察) (学習カードの記述)
<p>お互いに発表し合う。他のグループの発表をみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんなものが表したいのか見ている人に伝えられるように発表することを助言する。 ・ 他のグループの発表を見て、自信をもつことができるよう、お互いのグループの良かったところを発表し合うように指示する。 ・ 学習カードに記入し、本時の活動をふりかえるとともに、次時の活動への意欲がもてるようにする。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間とともに表したいものになりきって発表し、他のグループの良いところに気づく。 【関・意・態】(観察) (学習カードの記述)

本時の学習（5 / 5 時間目）見直し 3

1. 本時のねらい

表したいものに変化を加えながら、ひと流れの動きとしてイメージを広げ、まとまりのある表現になるような即興的な表現活動を行い、思いや感じをこめて自信をもった表現ができる。

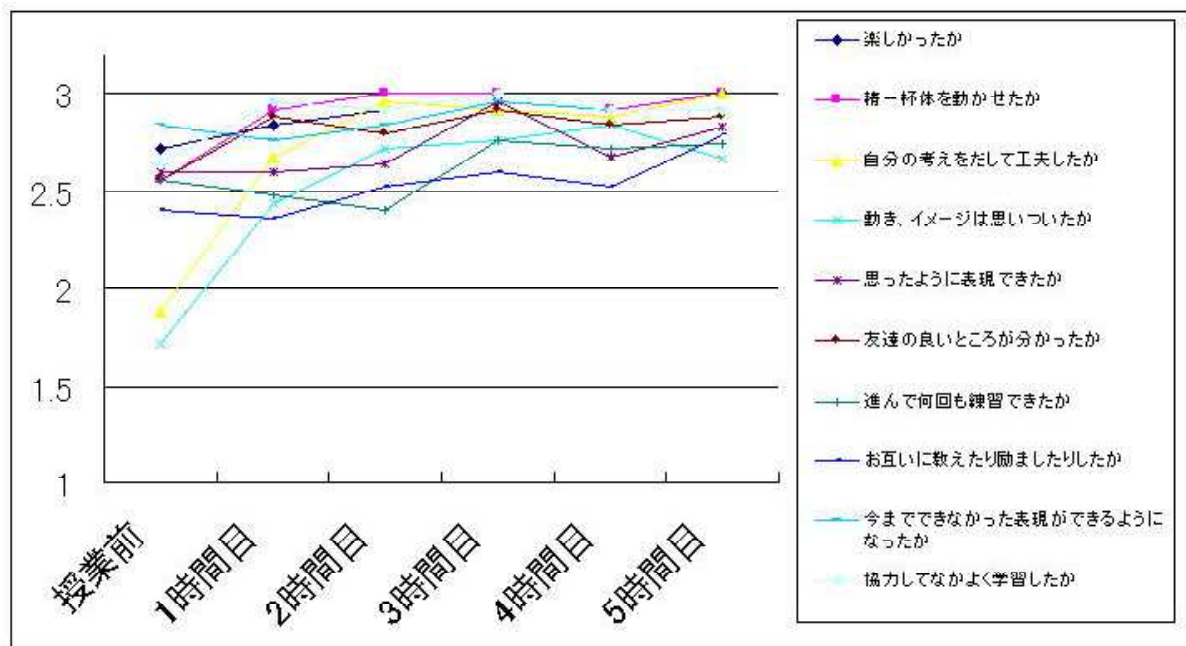
動きを繰り返し、精一杯の動きやメリハリのある動きで表現できる。

2. 準備 CDプレーヤー、イメージカード、黒板、マジック

3. 本時の展開 「だんだん、だんだんできあがり」

学 習 活 動	支 援	時間	評価の観点
<p>本時の学習の進め方を知る。 ウォーミングアップをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3人グループになり、カードをめくってすぐに書いてあるものになる。 （「この音なあに？」で出たイメージ） 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間の動きの真似をして音楽によって体全体を使って動くように指示する。 3人組でリーダーを交代しながらすすめ、すぐにカードに書いてあるものを表現するように指示し、思いつかない児童は駆け足やスキップで動くように助言する。 	10分	
<p>「だんだん、だんだんできあがり」の課題を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「だんだんできあがるものは何があるか。」思いついたもの言う。 教師の言葉かけで一緒に綿菓子ができる様子をひと流れで動く。 体全体をつかかって動いて自分でイメージをもって動く。 グループになりだんだんできあがるものをたくさん出し合う。 リーダー交代でリーダーの真似をしながら出てきたひと流れのイメージを表現する。 グループで上手にできたもの、気に入ったものに題名をつけ、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> だんだん変化していく様子がわかるようなものを教師から例を出し、イメージがもてるようにする。 教師が示したイメージと児童からでたイメージを取り上げ全員で動いてみることで、児童がひと流れの動きを意識して表現できるようにする。 すぐにできない児童は教師の真似をし、イメージがもてなくても体全体で動くことができるように助言する。 グループになり、教師の示したイメージだけでなく自分たちで考えたり、思いついたりしたイメージをたくさん出し、動きにしやすいイメージを見つけるよう助言する。 グループ（4、5人組）で仲間のイメージをまねし合うことで発想を広げられるよう助言する。 表したいものが変化する様子が見ている人に分かるように動くように助言する。 気に入ったもの、他のグループが考えられないようなイメージを選び題名をつけ、だんだんできあがる様子がひと流れで表せるよう、グループで考えた独自の表現が自信をもって動けるように賞賛や励ましの言葉かけをする。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> 課題にあったイメージをもち動きを工夫している。 【思・判】(観察) (学習カードの記述) 身近なものの様子をとりえて即興的にひと流れの表現ができる。 【技】(観察) (学習カードの記述)
<p>お互いに発表し合う。他のグループの発表をみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の活動のまとめをする 	<ul style="list-style-type: none"> どんなものが表したいのか見ている人に伝えられるように発表することを助言する。 他のグループの発表を見て、自信をもつことができるよう、お互いのグループの良かったところを発表し合うように指示する。 学習カードに記入し、本時の活動をふりかえるとともに、次時の活動への意欲がもてるようにする。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 自信をもって発表ができ、他のグループの良いところが分かる。 【関・意・態】(観察) (学習カードの記述)

形成的授業評価



今回は単元を通して、表現運動における題材への取組や仲間とのかかわり合いの様子をみるために形成的評価を行った。以下は調査票の項目である。

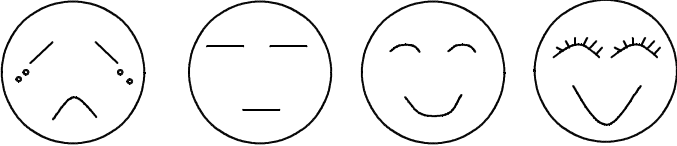
- 1 楽しかったですか（関・意・態）
- 2 せいっぱいからだを動かすことができましたか（技）
- 3 動きやイメージはすぐに思いつきましたか（思・判）
- 4 自分の考えをだしてくふうすることができましたか（思・判）
- 5 自分の思ったようにおどったり表現したりできましたか（技）
- 6 友だちの動きや表現のよいところがわかりましたか（関・意・態）
- 7 自分から進んで何回も練習できましたか（関・意・態）
- 8 友だちとおたがいにおしえたり、たすけたりしましたか（関・意・態）
- 9 今までできなかった動きや表現ができるようになりましたか（技）
- 10 友だちと協力してなかくよく学習できましたか（関・意・態）

この10項目について単元を始める前と毎時間の授業終了後に調査を行い、「はい」を3点「どちらでもない」を2点、「いいえ」を1点に換算して処理をした結果、以下のようなことが分かった。

- ・ 単元前に比べ、どの項目も授業が進むにつれて右上がりとなり、最後の5時間目にはほとんどの項目で3に近い評価となっている。特に豊かな表現力へつながる2、3、4、5の項目では徐々に得点が上がり、「動きのデッサン」を繰り返し取り入れたことにより児童が自分の表現に自信をもって取り組めるようになってきた様子がうかがえる。
- ・ 3時間目の意欲面での評価が上がっているのは、行った題材（「自動車と水たまり」）が児童にとって動きやすく取り組みやすい題材であったためと思われる。これは児童の感想等にも書かれており、評価の結果にも表れていることが分かった。
- ・ 8、10の項目にある仲間とのかかわりは、単元前に比べどの時間も全体的に高い得点である。授業に入る前はやや不安もあった児童であるが、仲間との活動を通して互いの表現を認め合うことで、自信をもって表現できるようになっていった。

<学習カード>

表現の時間をふりかえって・・・

3年 組 番 名前	
月 日 () 校時	
きょうやったこと	
きょうの自分は点数をつけると なん点かな？	ニコニコマークはどれかな？
点	
きょうあなたが見つけたこと、考えたこと、イメージなどを書いて残しておこう！！	
・きょうの自分の点数とニコニコマークは、どうしてこれにしましたか？	
・じゅぎょうをされていて、思ったことや感じたことをたくさん書いておこう！！	